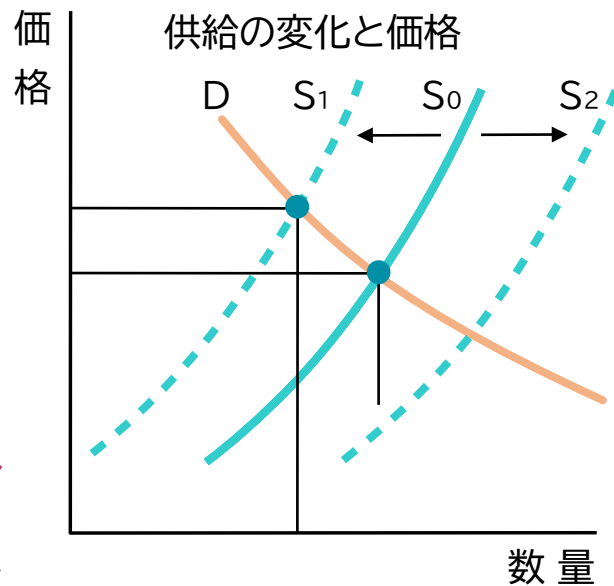
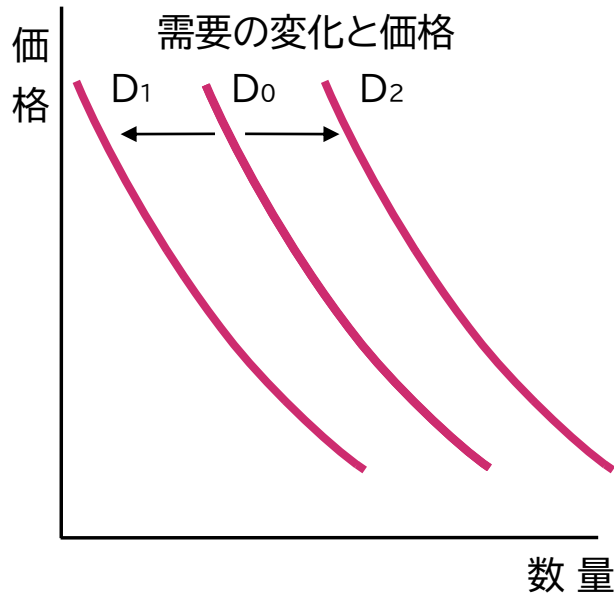


市場機構により資源(財・サービス)が配分される需要曲線と供給曲線の移動(シフト)



もし価格が均衡価格より低(安価)ければ、  
 品不足(超過需要)となって価格は上がります。  
 :D<sub>0</sub> の需要曲線がD<sub>1</sub> に向かって移動する。  
 :S<sub>0</sub> の需要曲線がS<sub>1</sub> に向かって移動する。

逆に価格が均衡価格より高(高価)ければ  
 売れ残り(超過供給)となって価格は下がります。  
 。  
 :D<sub>0</sub> の需要曲線がD<sub>2</sub> に向かって移動する。  
 :S<sub>0</sub> の需要曲線がS<sub>2</sub> に向かって移動する。

何を、どれだけ、どのような方法で、誰のために生産するかということについて、市場における私たちの自発的な取り引きによって解決しようというのが市場経済です。ここでは、価格がシグナル(信号)となって、私たちの需要に応じた生産が行われ、限られた資源が必要なものの生産に投入され、無駄なく、効率が良い生産が行われます。これが「価格の自動調整機能」であり「市場メカニズム」とも呼ばれています。

このように需要と供給の関係で価格が変化して、調節されることを価格の自動調節機能といいます。こうして品不足や売れ残りがなくなり、資源が無駄なく配分された状態を**資源の最適配分**といいます。